

令和5年度 第2回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和5年7月18日
出席評議員	石井評議員、桑原評議員、小泉評議員、甲原評議員、小林評議員、須藤評議員、高場評議員、中川評議員、原評議員（五十音順）
開 催 場 所	全国健康保険協会埼玉支部 大会議室 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター（JACK 大宮）17階
議 題	<p>【報告事項】</p> <p>①令和4年度 協会けんぽ決算(見込み)について(協議事項)</p> <p>②令和4年度 支部保険者機能強化予算執行実績について</p> <p>③令和5年度 埼玉支部事業計画実施状況について</p> <p>④健康経営推進及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について</p> <p>⑤その他報告事項について</p>

議 事 概 要	
<p>評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。</p> <p>① 令和4年度 協会けんぽ決算(見込み)について(協議事項)</p> <p>(学識経験者)</p> <p>資料 1-2p1、令和4年度の収支差によって埼玉支部の令和6年度保険料率に+0.008%影響が見込み。これは、比較的影響が小さいように感じられるが、影響がどんどん大きくなっている支部もあると思う。また、剰余金が増えている現状から、剰余金の在り方、保険料率10%は適正なのか、算定方式を全国で平準化するべきではないかといった議論が再熱すると思われる。</p> <p>(事務局)</p> <p>ここ数年、収支差が大きく振れているのは、新型コロナウイルスの影響で、保険料率を設定した時点の医療費の試算と実際の医療費との差が大きく出ているという要因もある。</p> <p>(被保険者代表)</p> <p>準備金残高が増え続けていく場合、国庫補助率16.4%が縮小する可能性はあるのか。国の政策として推し進めている異次元の少子化対策の予算を社会保険料から一律徴収するような話が出ているが、協会けんぽとして国から話はきているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>国庫補助率については、現在、準備金残高が法定準備金を超えて積み上がる場合に、新たな超過分の国庫補助相当額(16.4%)を翌年度に減額する措置が取られている。また、異次元の少子化対策については、このために必要となる安定財源をどのように確保するかについて、国として年末までに結論を出すとしており、その動向を注視したい。</p>	

(事業主代表)

標準報酬が増えるということは、経営者の立場からすれば、会社の社会保険料負担が増えるということでもあるため、依然として厳しい状況にある。そういった状況も踏まえた還元策としての健診費用の補助額増額だと思うが、その政策にはどの程度の費用増を見込んでいるのか。

(事務局)

本年度が 220 億円、翌年度が 250 億円程度を見込んでいる。

(事業主代表)

変動要因が複数あることは理解しているが、今後の保険料率の議論の土台として収支見込みのシミュレーションを今まで以上に緻密に行っていただきたい。高齢者の人口動向や賃金の動向の他にも、健康保険組合などの流入や流出、高齢者の負担割合の変更や法改正による財政影響など細かな要素も含めてシミュレーションしていただきたい。その上で、今ある剰余金がいつから減り始め、いつ頃単年度収支が赤字になり、何年後に剰余金を使い果たすのかというところが示されれば、対外的にも説得力が増す。また、大きな変動要因が判明したタイミングで修正する、または年2回程度修正するなど、精密な将来の見通しを立てていただきたい。

(事務局)

制度改正など、非常に将来の見込みを立てにくいところはあるが、複数のシミュレーションが必要というのはその通りである。また、可能な限り多岐にわたったシミュレーションをたて、将来見込みの要件が変わった時点で、適宜修正が必要な場合もあろうかと思う。

② 令和4年度 支部保険者機能強化予算執行実績について

特になし

③ 令和5年度 埼玉支部事業計画実施状況について

(学識経験者)

資料 3-1p19、被扶養者の集団健診について、開催時期が年明けからに偏っているのは何故か。

(事務局)

特定健診は、埼玉県医師会と集合契約を結んでいる。特定健診は、どの医療機関でも受診できることがほとんどであり、お近くの医療機関で受診していただくことが基本である。集団健診を年明けから集中的に開催しているのは、それでもなお受診されなかった方たちをターゲットにしているためである。

④ 健康経営推進及び第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について

特になし

⑤ その他報告事項について

特になし

特記事項

・ 次回は、令和5年10月開催予定